

## 6月19日(水)朝 ユニティ・アースのイベント『日本から世界へ、平和が広がるように』

<ベンさん>

皆さん、こんばんは、こんにちは、おはようございます。私はユニティ・アースのベン・ボウラーです。私たちは今、2024年ワールド・ユニティ・ウィーク「Dancing the Dream」の真っ只中にいます。今日は、『若者たちの平和の声』という素晴らしいプログラムがありました。ワールド・ユニティ・ウィーク2024の4日目の後半に差し掛かろうとしている今、この分野全体を通して信じられないようなイベントが次々と行われています。今夜の全体会議がとても楽しみです。

私たちは今日、地球上で最も素晴らしい世代を超えた平和運動を代表する並外れたグローバルな平和構築者および平和創造者と席を共にしています。それは、20世紀半ばに遡り、五井昌久先生の素晴らしい使命と奉仕に満ちた素晴らしい人生から生まれた幾つかの組織に端を発するものです。彼のビジョンと夢は、本当に天と地を一つにすることでした。

ですから、今日は彼の孫娘にあたるお2人と一緒にできることをとても光栄に思います。本日は、吉川・西園寺・里香さんと松浦・西園寺・由佳さん、そしてフミ・ジョーンズ・スチュアートさんにお越しいただいています。今から全員の紹介をしてゆきますが、里香さんと由佳さん、今日は私たちと一緒にこの全体会議に参加していただき、本当に感激しています。素晴らしいことです。日本から世界へ平和が広がることを願っています。ありがとうございます。

それでは、簡単に本日のスピーカーのご紹介をさせていただきます。吉川・西園寺・里香さんは、白光真宏会の副会長であり、MPPOEIの副理事長でもあります。彼女は日本の学習院大学、米国ミシガン州立大学で学び、その後、カリフォルニア州サクラメントでルドルフ・シュタイナー教育を学びました。彼女は3人のお子さんの母親であり、現在は、五井グループの会長である西園寺昌美さんの後継者の一人でもあります。彼女は2人の姉妹とともに、さまざまな活動を通じて平和と神聖なる存在を広める活動に取り組んでいます。彼女の素晴らしい旅、それはまだ始まったばかりです。

里香さんの妹、松浦・西園寺・由佳さんは、50年以上前に日本で誕生した世界平和と人類の意識向上を目的とした精神性の団体「白光真宏会」の会長代理を務めています。由佳さんの祖父にあたる五井昌久氏が創設したこの団体では、普遍的な平和の祈りを唱えることで、地球に平和が広がることを説いています。また、白光では、すべての人間が神聖なる存在であることを教え、異なる様々な宗教指導者を招いて平和への祈りを祈り合う「SOPP（世界平和交響曲）」という異宗教間の交流イベントを開催しています。このSOPPのときには、1万人以上の参加者がそれぞれの宗教の祈りに調和しながら共に祈りを捧げています。

由佳さんは、白光の姉妹団体である「五井平和財団」でも働いています。本当に素晴らしい！私は、あなたとご家族の世界での活動の大ファンです。私たちは、エチオピアでフミさんに初めてお会いして以来、世界中の神聖な場所で何年も何年も、祈りのセレモニーをしてピースポールを置いてきました。それ以前には、ワールド・ピース・プレイヤー・ソサエティを代表して国連で長年働いていたデボラ・マルダーと密接に協力していました。ですから、私たちは深い深い絆で結ばれています。

2019年のあなたの活動の時にも、私は幸運にも東京に滞在しており、デボラの紹介で白光を訪れ、3人のご姉妹全員にお会いすることができました。その中には、お姉さんの真妃さんも含まれています。そして、白光とご家族のおかげで、この運動が世界中に展開されていることは素晴らしいことだと思っています。

今日は、里香さんと由佳さんに、白光の活動はどのようなものなのか、その源を理解するためのお話をさせていただくことに、時間を割きたいと思います。また、五井昌久氏、五井先生の生涯と天職、そして今日まで続く彼の使命についても学びたいと思っています。

多くの人が、9月の国際平和週間にユニティ・アースとパートナーズの代表団が日本を訪れ、それを白光と共同主催することを知っているかもしれません。そのことについて少しお話しますが、この仕事に対するより深い天職、その精神的な側面についてお話ししたいと思います。里香さん、まずあなたからお話を伺います。あなたの祖父について少し教えてください。彼はどんな人でしたか？また、彼の人生における精神的な使命は何だったのでしょうか？

<里香先生>

ベンさん、そして今日、ここに生中継で参加してくださった皆さん、本当にありがとうございます。インターネット検索で平和に共鳴し、平和を本当に大切にする方々をつなげるためのリンクを探そうとしても、なかなか難しいことだと思います。それは素晴らしいことではありますが、そのような繋がりには奇跡のようなことです。ですから、私はまず、皆さんが平和のために行なっているすべてに感謝したいと思います。そして、平和を願うひとりひとりに感謝したいと思います。

もし私の祖父がここにいてこのやり取りを聴いていたら、彼は私のそばにいて、きっとこう言うでしょう。「よくやっているね。私が本当に望んでいた心のあり方と平和を広めるためのよい友人を見つけたね。」と。今、そのように祖父と一緒に笑っていると思います。

私の祖父、五井昌久は1916年に生まれました。哲学者であり、若い頃から詩人でした。彼は人類のために奉仕し、人類に平和をもたらしたいと強く思っていました。特に第二次世界大戦が日本に甚大な被害をもたらした後、祖父は「今こそ、日本人は日本のためだけでなく、世界の平和のために祈るべきだ」と語りました。つまり、「これは日本に対する使命であり、またすべての人類にとっての平和への使命でもある」と祖父は感じていたのです。

私はその言葉を理解できる年齢に達していたので、その言葉はすべての人類の平和への祈りだと理解しました。週末に両親が私を集会に連れて行ってくれたとき、私は、心の苦悩について聞いたり、若い人たちが部屋に集まって、世界の平和のために本当に祈りを捧げたりしているのを見てきました。ですから、祖父は、このメッセージを日本だけでなく、世界中に伝えたかったのだと思います。由佳さん、この点について、もう少し詳しくお話いただけますか？

<由佳先生>

里香さん、どうもありがとうございました。里香さんは、五井先生がどのような人であったかを、全体として伝えてくださいました。私たちは彼を「五井先生」と呼びますが、私たちの祖父である五井先生がどのような人であったか。つい最近、ある集まりで話した話を少しだけシェアさせてください。

そのときに、私たちは今、多くのものが崩れ落ちたり、腐敗したり、崩壊したり、ある意味で一つの生き方が完結の域に達し始めているような、そのような状況下における実践のあり方について話していました。私たちは日々、どのような実践が必要なののでしょうか？五井先生はいつも、「私たちの祈りが地球に平和をもたらすのは、縦と横の交差点のちょうど真ん中にある」と語っていました。

私は、いつもこの話をしています。私にとって縦は、真理とその先にあるものと繋がっているのです。私たちにとっては神々ですが、それを宇宙や生命の源、あるいは何と呼んでも構いません。しかし、あなたと源を垂直に繋げる実践はとても重要です。なぜなら、目の前で何かが起こった際に、日々の実践を積み重ねていれば、その際に、目の前で起こっている現象の奥にある、より深く高い次元で起こっていることに繋がっている真実を見抜くことができるからです。

そして、私たちを水平方向に結びつける実践もまた非常に重要です。私にとって、それは愛のエネルギーの結び付きです。ですから、自分自身を他の人間や地球、動物、あるいは自分自身という存在を超えた存在と結びつけるために、毎日実践することが大切です。そして、そのような実践をしていると、何かが起こったときに、私にとっては、それは日本で起こった大きな地震でした。

しかし、そのようなことが起こった際に、もしあなたが日々の実践を行なっていれば、その際に、自分自身のことだけでなく、周りの人々や地球や動物たちのために考えることができます。ですから私は皆さんに、縦と横が十字交差した意識の日々の実践が重要であることを共有していただければと思います。

そして、祖父はいつも、平和の鍵は十字の中心にあると言っています。それは本当にその通りで、放射能が放出され、誰もが混乱に陥ったとき、メンバーは常に意識の中心部にいて、現象の先を見通すことができ、また自分自身のことだけでなく、お互いのことをも気遣うことができました。私は、祖父の教えを受けて、みんなが実際にどのように行なってきたか、また私たちにとって、祖父の祈りがどのような意味を持ち、どのような効果をもたらすのかを、里香さんの話に付け加えたいと思い、お伝えさせていただきました。

<ベンさん>

素晴らしい。ありがとう、由佳さん。由佳さん、ありがとうございます。もう少し、お話ししていただけますか？あなたのお母様が、祖父について語ったときのこと、あるいは、祖父の人生の旅について話してくれたことなどを少しお話ししていただけますか？

なぜなら、五井先生の生涯は魅力的だからです。彼の伝記や自伝には、彼の全生涯が書かれています。しかし、彼の教えやメッセージの本質という観点から、五井昌久氏の下で育ったことについて、お母さんから聞いた話があれば教えてください。また、このライブ中継をご覧になっている方や、オンデマンドで後から見られる方が、彼の本質や人間としての五井先生について理解を深めるのに役立つようなことをお話しいただけますか？五井先生についてのお話があれば、いくつかご紹介いただけますか？

<由佳先生>

そうおっしゃっていただき今、二つの話が思い浮かんでいます。一つは日本で私たちは、いつも伝統としてお食事をいただくときに、手を合わせて「いただきます」と口にしてお食事をいただく儀式を行ないます。これは、目の前にある食べ物に感謝し、食べ物を作ってくれた人に感謝し、また私たちに与えられた命を敬うためのものです。ですから「いただきます」と言うことはとても大切なことです。しかし、私は五井先生が話されたある話を覚えています。はっきり覚えていないかもしれませんが、彼は「いただきます」をしなかったのです。それで誰かが彼に「いただきますと言わないのですか？」と尋ねたそうです。そのとき彼は、「毎日、一瞬一瞬を『いただきます』と思って過ごしていれば、それは単なる思い出話に過ぎず、結局、修行など必要なくなる」と言っていたのです。私はこの話をよく覚えています。

また、彼を思い出すエピソードのもう一つは、私は彼が天に帰る6か月ほど前に生まれたので、彼について具体的な記憶はありませんが、日本には別れの際に、互いにお辞儀をする習慣があります。祖父のお辞儀は、誰に対してもとても深いものでした。祖父は、信者さん方や彼に会いに来る人（少年や子供など）に話しかける際、常にとっても深いお辞儀をしていました。私はそんな彼の謙虚さを見ていました。そして、彼が人々を見守っていた姿も見ていました。私たちはいつも神聖の復活について話しますが、彼の人としてのあり方が、彼が話していたことそのものでした。少なくとも、私には祖父はそういう存在に見えます。

<里香先生>

先ほどお話したように、私は世界平和の祈りを聞きながら育ちました。私の環境、家族、私が参加したコミュニティの影響からか、「世界が平和でありますように」という祈りを祈るのは、私にとってごく当たり前のことでした。私の周囲は誰もがそうしていたのです。生きるということは、世界の平和のために努力し、祈ることでした。

しかし、小学校に入学した際に、それが誰にとっても当てはまるわけではないことに気づきました。高次の存在や守護霊や守護神を信じていない人や、祈ることに意味がないと考えている人がいることを知ったのです。その現実を初めて目の当たりにしたとき、それは私にとって世界との大きな隔たりのようなものでした。そして、それは私にとってある種の衝撃でもありました。なぜなら、私が当たり前に行ない、努力していたことが外の世界には存在していなかったからです。

ですから、小学校に入るまでは、この世界は素晴らしい美しい場所であり、誰もが平和を信じて平和を祈っているのだと心から信じていました。しかし、小学生になってからは、みんなが同じ考えだとは思ってはいけない、正しいことと正しくないことがある、とを感じるようになったのを覚えています。そして、私はそれを心に留めていました。私はそれを心にしまい込み、祖母が教えてくれたことや五井先生の教えについてあまり話さなくなりました。

しかし、私が10代の最も辛い時期でさえ、祖父である五井先生が常に話していたこと、つまり人間の本性は、どんなに醜い考えを持っていようとも、どんなに不快な行動をとっていようとも、「どんな人も本来は神聖の存在なのだ」ということについては、決して、口にしませんでした。

彼は、「すべての人間は永遠の命の現われであり、互いに結びつき、より大きな宇宙に貢献し、宇宙の目的を果たしている」と語りました。つまり、すべての人には目的があるのですが、人々はそれを忘れてしまっているということです。彼は、「たとえ人々が同意しなくても、祈り続けるべきだと語っていた」と記憶しています。

たとえ心の中でであっても、静かに、このメッセージについて祈り続けるのです。そして、それは最も強いメッセージでした。私は友人や先生を疑ったり、それを否定したりしたことはありません。私は常にこのメッセージを心に留めており、それを信じていました。

五井先生は、「世界平和の祈りは、とてもシンプルな祈りなんだよ」と言いました。誰かが発する一つの光が地球に平和をもたらします。それはあなたの人生や家族の幸せだけの平和ではなく、地球そのものに平和をもたらします。私は、それが対立を克服し、より大きな目的のために奉仕することにつながると考えています。

ですから、彼は本当に、この祈りの一節が宇宙、さらには宇宙全体と繋がっていると感じていたのです。この祈りこそが、私たちを人類の真の性質と本当に結びつけるメッセージであり、その振動なのです。ですから私は、このことを生涯忘れずにいます。そして、このメッセージに共鳴することで、地球に平和が広がり、奇跡的なことが起こるのです。このメッセージを祈り続けるならば、です。これが、五井先生の教えの力だと思います。

<ベンさん>

ウォー、里香さん、ありがとうございます。本当にありがとうございます。お二人がここで話してくださったことには、とても深い智慧と真理が内包されています。由佳さんの「祈りを常に実践していれば、形式的な祈りは必要ない」というお話、とても好きです。これはとても、とても奥深い教えだと思います。それらこの世的な形式ごとのすべては、私たちを助け、意識をその中心点に常に戻すためにあります。しかし、人がある一定の境地に達すれば、形式はもはや必要なくなるのです。そのような意味で、そのお話には、真理の裏付けがあります。

そして、里香さん、私はあなたの話にとっても共感しました。あなたが深い精神文化の中で成長し、小学生時代に社会における物質主義文化に触れ、大きな試練に直面したこと、それは私たちみんなが、ほぼ毎日直面している問題だと思います。私たちは、神聖なものへの畏敬の念に満ちた、相互に関連し合う精神性を持つ真のグローバル文化と、物質主義的な日常の狭間の世界にいます。

私たちは、ありふれた日常の世界、そして霊なるいのちを否定する世界、私たちが経験した生命の神秘を受け入れない理性と思わしき常識に軸を置く世界のなかで、それに対処する方法を見つけ、それらをまとめ、この二つの非常に異なる経験を調和させる必要があります。それは、容易ではありませんが、あなたの祖父の知恵は、誰もが役割を持ち、誰もが目的を持っているということです。そして、それを忘れてしまった人もいるかもしれませんが、私たちはただ、すべての人と地球のために祈り続ける必要があるのです。それは素晴らしいことだと思います。素晴らしいお話です。

お二人とも、とても豊かな個人的な経験を語ってくださり、ありがとうございました。私は富士宣言が大好きです。それは素晴らしいもので、富士聖地で行われたイベントで発表されたものでした。ラズロ博士と彼の妻も、それが初めて行われたときにそこにいたと思いますが、それは最終的に、誰もが内に宿す精神性が神聖であることや、神聖復活という普遍的な真実を証明するものです。

そして、東洋の伝統やキリスト教の伝統、西洋のさまざまな伝統、先住民の視点など、さまざまな伝統から見ると、私は富士宣言とその意図が大好きです。皆さんの運動は、すべての人の中に宿る精神を認識する富士宣言を生み出しました。そして、私たちがそれを真実だと信じ、そのように生きるとき、すべてが変わります。この素晴らしい活動を続けてくださっていることに感謝しています。

そして、このインタビューの前に、すでに4世代目となる何人もの子供たちがこの活動に参加しています。里香さんには3人のお子さんが、由佳さんには2人のお子さんが、そして里香さんの姉の真妃さんにもお子さんがいます。これは、もともと五井先生から始まり、由佳さんと里香さんの母、昌美さんを通じて、平和構築の担い手となる4世代目となるお子さんたちです。本当に素晴らしいことです。

最後に、クリスティン・ホフマンさんから特別なメッセージが届いています。なぜ、あなたは日本が世界の物語の中で特別な役割を担っていると思いますか？私たちのこの番組は「日本から世界へ、平和が広がるように」というタイトルですが、あなたの祖父の仕事や、あなたの家族の仕事には、日本が世界平和の特別な役割を担っている、それはまるで生まれ持った使命のようなものだ、という感覚があります。そのことについて、何かお考えがあればぜひお聞かせください。まずは由佳さんから、その後、里香さんにもお話しいただければと思います。

<由佳先生>

私も最近知ったのですが、日本最初の憲法は600年代に、聖徳太子という人物によって作られ、その最初の日本国憲法には、「和を以って尊しとなす」という言葉がありました。調和を深く尊重し、それによって日本国が作られているということです。これは600年代に作られた精神で、通常、憲法は誰が権力を持っているかで左右されるのですが、日本の地には調和の概念が600年前からありました。

その考え方は、この土地や私たちの文化に深く根付いていると思います。ヒンドゥー教も同じだと思いますが、神道では、私たちの国教である神道には八百万(やおよろず)の神々がいると伝えられています。この概念を、確かスウェーデンかスイスだったか忘れましたが、ヨーロッパのある方に話したところ、彼は「それはうちの国の人口と同じだ。ということは、神はすべてを網羅しているということですね」と言いました。私は、「はい、それは私たちの神道が共有している考え方です」と答えました。

それから私は、日本の奥深い文化は、神と人間と自然の境界線が曖昧であることに気づくようになりました。私たちは自然の中に神を見えています。また、人と自然を分けて考えるのではなく、両者が一体となっているようにも見えています。その境界線は明確ではありません。そして、そのような世界観の概念は、神聖復活の時代ともいえるこの時代を導く上で、非常に役立つものになると思います。私たちが互いを神聖なる存在であると認識するために、です。

日本には、すでにそのようなエネルギーが文化の中に存在しています。多くの日本人はそれを忘れてしまっていますが、それが、私がこの時代における日本の力だと考えています。そしてそれに関連して私の祖父は、「神から生まれたと信じて生きること、それ自体が祈りである」、また「今、世界平和のために祈っているあなたは、神聖と直結している」とおっしゃっていました。神と人と自然、そして、祈りや生き方を通して、それらすべてを見通すこと、それが今、日本が世界に提供できる大きな鍵だと思います。これが私の理解です。ありがとうございました。

<里香先生>

付け加えることが一つだけあります。あなたが言ったように、日本は“日の出(いづる)国”です。そして、日本の国旗は、太陽のような赤い丸があるものです。真ん中に太陽がある。それは、五井先生が話したように、精神が宿る場所を象徴しています。日本語で「日の本」は精神性の大元を意味します。そして、それは精神、本来の生命を指します。太陽は、そこから生まれる精神性を象徴しています。

ですから、たとえ国旗であっても、私たちは心の奥底で、精神性を本当に受け入れていることを示しています。由佳さんが言ったように、自然や大陸からやってきた人々との調和を本当に大切にしているのです。それは、神がすべての場所に宿るというアニミズムという基本的な概念でした。中国から仏教が伝わると、私たち日本人は仏教とも調和しました。私たちは他の文化や自然と調和しようとする性質を持っています。これが、日本人が持つ精神性です。

また、地理的に見ても、日本は海に囲まれ、山もたくさんあります。つまり、私たちはたくさんの天然資源に恵まれています。ですから、人間はこれまで争う必要がなかったのです。もちろん、長い歴史の中で戦争をするようになったことは事実です。しかし、日本の国旗が示すように、私たちは本当にその太陽を人類の精神として捉えているのです。

<ベンさん>

素晴らしい。素晴らしいお話ですね。由佳さん、里香さん、ありがとうございました。素晴らしい表現ですね。日の出ずる国。それを感じることができます。エネルギーを感じることができます。そして、9月に日本で行われる私たちの巡礼について少しお話したいと思います。皆さん、ぜひご参加ください。そのことについて少しお話したいと思います。

実は、そのインスピレーションはロサンゼルス・レイク・シャインへの訪問から得たものです。そして、面白いことに、クリスティン・ホフマンがそのことについて語ってくれています。私は由佳さんの発言も大好きです。神、人間、自然が結びつき、日本の精神性においてこの3つのものが一体となるというお話です。

そして、里香さんは山や海、島といった地理的な要素を持ち込んでいます。つまり、地理と文化が再び結びつき、おそらくは別の次元の神秘性、神秘的な次元も加わります。それゆえ、深い喜びと感謝の気持ちとともに、私たちは9月にユニティ・アース代表団とともに、そして今日は、ここにいる多くの方々と共に、日本へ向けての旅を始めます。おそらくもう少ししたら、代表団からの報告があるでしょう。

これは、ロサンゼルス・ヨガナンダの所有地であるレイク・シャインで、神秘的な啓示を受けたことから生まれました。それでは、クリスティンの話を聞きましょう。クリスティンは昨日、私たちのために、このビデオを作ってくれました。クリスティン・ホフマンは、コミュニティの多くの人に知られていますが、クリスティンはジュリア・トレーニングを受けたシンガーであり、意識的なミュージシャンであり、プロデューサーでもあります。彼女は国際的なグループ「バラガヤ」のボーカルであり、この作品すべてを強く支持しています。では、マーク、クリスティン・ホフマンのビデオを流しましょう。ありがとうございます。

<クリスティンさん>

(※動画の音声が入りきれなかったため途中で止まってしまった。後ほど、再度流す予定とのこと)

<ベンさん>

彼女の動画の音声が入りきれないようです。また調子が戻ったら残りの動画を流します。クリスティンが話していたとき、私はそれがどれほど美しいビデオであるかを話していました。私たちは今、生命の本質について話しています。彼女は、富士聖地でパフォーマンスをした経験があり、その一員として彼女の旅やキャリアのハイライトの一つである素晴らしい空間でパフォーマンスを披露するという夢を実現したクリスティンが、日本に行くというビジョンを持ったとき、最初に私たちが連絡を取った人物が彼女（フミさん）でした。

フミさんを紹介します。彼女を通して私は、由佳さんと里香さんのご姉妹、そして白光の組織全体と繋がりました。あなたの努力と人脈によって、多くのことが実現したのです。今日は、あなたをお迎えできて本当に嬉しいです。

フミ・ジョーンズ・スチュワートさんは、「MPPOEI」アメリカ世界本部のエグゼクティブディレクターです。フミさんは東京で生まれ、アメリカ人と日本人の両親の元に生まれたため、2つの文化の架け橋になりたいという強い思いを抱いて育ちました。フミさんは、1980年代初頭に、日本を拠点とする祈りによる世界平和運動を国際社会に紹介することに尽力しました。また、彼女はピースポールプロジェクトに尽力し、1988年にニューヨーク州にアメニア聖地を開設する支援をしました。36年前のことです。

フミさんは、姉妹団体である「五井平和財団」と「白光真宏会」の米国連絡窓口も務めています。フミさん、今日は来ていただいて本当にありがとうございます。マイクをONにしてお話ししてください。

<フミさん>

ベン、私たちをここに招いてくれてありがとう。また、西園寺姉妹と一緒にここに参加できていることをとても嬉しく思います。彼女たちは「May Peace Prevail on Earth（世界人類が平和でありますように）」の遺産を受け継いでいるのです。彼女たちの話を聞くと、私はいつもとても感動します。特に「May Peace Prevail on Earth」の創設者であり、普遍的な祈りのメッセージである「May Peace Prevail on Earth」の提唱者である彼女たちの祖父、五井昌久氏の話は感動的です。話を続ける前に、例の短いビデオを流してもらえますか？とても短い、素敵なビデオから始めたいと思います。(※短いビデオが流れる)

どうもありがとう。このビデオを見るのが大好きなんです。世界中の子供たちの平和を願う声が必要な感動を伴って心に響きます。どうもありがとうございます。そして、里香さんと由佳さんの話に付け加えたいのですが、私たちは「MPPOEI」「白光真宏会」「五井平和財団」です。私たちは「May Peace Prevail on Earth」というメッセージで繋がっています。このメッセージが私たちを結びつけているのです。

このメッセージの意図は、平和のシンボルであるこのマークに表されていますが、日本語の文字の「世界人類が平和でありますように」には非常に深い意味があります。そして、それは「地球に平和が広がりますように（May Peace Prevail on Earth）」という言葉にあるような、地球だけの意味にとどまらないのです。

この祈りの力は地球上の平和にとどまらず、すべての生きとし生けるもの、すべての自然、東西南北、上下、宇宙、すべての世界に届きます。なぜならこのメッセージの日本語は、山川草木悉皆成仏という言葉で表わされるような、すべての存在を調和させる祈りだからです。ですから、「May Peace Prevail on Earth」という英語訳は、非常に単純化されたものだといえます。

しかし、私たちが日本語で「世界人類が平和でありますように」と唱えるとき、それは本当に多次元的で、非常に宇宙的な祈りとなります。その波動は地球を包み込むだけでなく、宇宙にまで広がってゆくのです。日本語には「言霊」という言葉があります。それは、言葉の響きが持つ力、エネルギーを示した言葉です。ですから、「May Peace Prevail on Earth（世界人類が平和でありますように）」の祈りには、大きな力があるのです。

広島と長崎への原爆投下によって、人生や精神性に大きな影響を受けた五井昌久氏は、第二次世界大戦後に深い瞑想と祈り、厳しい精神修養に取り組みました。そして、神聖な世界から「世界人類が平和でありますように」というメッセージを受け取り、来るべき新しい地球へ移行するための準備として、このメッセージを広めるように求められたのです。

そして、多くの神々や天界のマスター、守護神霊、守護天使、高次の世界の宇宙的存在がこの祈りを祈るところに、地球全体を調和させる巨大な波動を放出し、私たちが神聖なる存在そのものとなるための準備を本当に調える支援をしてくださいます。この言葉には、そのような力があるのです。

また、五井昌久氏は、長崎と広島への原爆投下で、世界で初めて原爆の被害を受けた国として、「人類に対する原爆の使用が今回で最後になることを願っている」と語りました。そして、「日本は世界に力強く重要なメッセージを発信するという重大な使命を担っている」ともおっしゃっていました。ですから、地球に平和が広まることは、日本が世界に平和の強力なメッセージを発信するという使命を果たすことにもリンクしているのです。

私は長い間、地球に平和の意識を浸透させることに携わってきました。この世界的な運動の一員であることを誇りに思っています。それは、ごくごく少ない人数の人たちから始まりました。最初は組織でさえありませんでした。救いを求める人々が五井先生の下に集まりました。五井先生は、はじめはそのような人々に教を説いていました。

その頃の日本は、第二次世界大戦の敗戦後で非常に貧しく、人々は戦後の大きな苦しみの最中にありました。食べ物もお金もありませんでした。彼は素晴らしく温かい人柄の持ち主で、人々が彼の話聞くために集まった際に、彼は個人相談の終わりに、いつもキャラメルを手渡しで配っていました。そして、昭和30年のはじめ、人々が集まった場所で、彼はこう言いました。「“世界人類が平和でありますように”と祈りなさい。あなたがどんな苦しみや困難に直面していても、地球上のすべての人々と繋がっているのだから、常にみんなが平和であることを祈りなさい。あなたの平和と幸福は、人類と直接繋がっているのです。」と。

そのようにして、世界平和の祈りが始まったのです。そして今、「世界人類が平和でありますように（May Peace Prevail on Earth）」の祈り言葉は世界的なメッセージとなり、世界平和を祈ることは、過去70年以上にわたって世界中の多くの人々によって受け入れられてきました。今では「May Peace Prevail on Earth」の祈りは世界中に広まりました。この平和のメッセージが書かれたピースポールは、あらゆる大陸に建てられ、何万ものピースポールがこの素晴らしい愛の波動を世界に放ち、私たち人類の思考形態を調和、平和、そして



真の赦しへと変えつつあります。「May Peace Prevail on Earth」について、少しご紹介させていただきました。

<ベンさん>

皆さんのお話を聞くことができるこの体験は、私にとって素晴らしい経験だと感じています。本当にありがとうございます。私は白光の歴史が大好きで、人々が五井先生の下に集まったような初期の頃に戻りたいと思っています。そして、そこからどのようにして自然発生的に始まったのか、そしてそこから世界的な組織となった現在に至るまで、とてもとても多くの豊かな恵みがあります。それらは、フミさんや西園寺家、五井平和財団、白光真宏会、MPPOEI、そして世界平和を祈りつづけてくださった先達や、今も祈り続けてくださっている人々が世界に与えてくれるものです。

フミさんと私は、2018年のアース・デイの日に出会いました。それは、エチオピアで開催されたアフリカ連合の集いで、ムシ大使があなたを連れてきてくれたあのときです。そして、100人以上のアフリカの小学生たちが、地球上のすべての国の国旗を振って、フラッグセレモニーを行ないました。各国におけるフラッグセレモニーについて少しお話いただけますか？ なぜなら、私にとって「May Peace Prevail on Earth」の祈りは、すべての国々への祈りでもあるからです。1〜2分程度、そのことについて触れてもらえると嬉しいです。

<フミさん>

喜んで。1983年に由佳さんと里香さんの母である昌美さんが始めた「世界各国への平和の祈り」は、神聖なる存在のエネルギーを集中させ、地球上のすべての国にエネルギーを送ることで、すべての国の魂を目覚めさせることを目的としています。「May Peace Prevail on Earth（世界人類が平和でありますように）」という祈りは、現在193の国連加盟国とその他のすべての地域に対して捧げられています。1986年のときには、165カ国ほどしかなかったと思います。国の数が随分増えましたが、これはとても…、何と云えばよいでしょうか…。誰もが心をつにして祈りを唱え、世界に愛を送り出すという、とても包括的なグループワークだといえます。それは、とても、とても美しいことです。各国の国旗は精神性の象徴として掲げられ、祈りは国旗を通して世界各国の人々の心に届きます。とても美しいセレモニーだといえます。

<ベンさん>

素晴らしい。フミさん、ありがとうございます。フラッグセレモニーや各種の祈り、そして「May Peace Prevail on Earth」というこのイベントの精神に、素晴らしいリーダーシップと献身的な努力を注いでくださり、ありがとうございます。あなたは平和の象徴であり、私たちはこの繋がり、あなたが切り拓いてくださったすべてに心から感謝しています。

それでは、クリスティン・ホフマンさんのビデオをもう一度再生しようと思います。最初にフミさんから「すぐに日本に行くように」と電話があった時、あなたは「広島にも行く必要がある」と言いました。それでその後、東京に数日滞在することになりました。もちろん、東京コンバージェンスという戦略会議もあります。

これは、多くのグループ、組織、研究所が一堂に会し、グローバルな平和運動としてより効果的に組織化する方法を決定するための会議です。それは、袖をまくり、より良く共有し、より良く繋がり、より良く調整し、より良くコミュニケーションを図り、地球上でより強い影響力を持つシステムとなる方法を見つけるために、本気で取り組むことです。それはとてもエキサイティングなことです。

その後、私たちは富士山の麓の富士聖地へと向かい、プログラムの精神的な中心地へと向かいます。クリスティンがビデオで少し詳しく話していますが、3日間の儀式、ムードラ（印）、静寂、神聖な音楽は、とても心身を癒してくれるでしょう。そして、広島から世界に向けて生中継される大規模な国際放送のために、広島に

新幹線を走らせ、土曜の夜と日曜の朝に平和記念公園で放送する。それが、あなたからのインスピレーションでした。

教えてください。なぜ、9月の平和の日に「May Peace Prevail on Earth」と「Unity Earth」、そしてすべてのパートナー組織を広島に招くことがそれほど重要なのか。そこを少しだけ教えてください。

<フミさん>

そうですね、ご存知のように9月21日は、99回目の「国際平和デー」の週末でもあります。そして、「May Peace Prevail on Earth（世界人類が平和でありますように）」というスローガンは、日本に原爆が投下された経験と密接に関係しています。この運動は、原爆投下という歴史的な出来事の影響を受けて始まりました。そういったことを念頭に置きますと、広島は赦しと和解の象徴でもあると思っています。

そしてそれは、世界の平和と統一にも繋がります。地球の統一のためのとても重要な入り口なのです。平和の作り手や平和の担い手であるすべての人々が、広島を訪れ、博物館や歴史に触れ、この歴史を繰り返さないために、本当に心を一つにする経験をすることを願っています。そして、歴史を知り、未来を変えることができるようになることが、私たちにとって本当に重要な使命なのです。

<ベンさん>

素晴らしい。私はあなたの話に感銘を受けました。とてもうまく表現されていて、広島への巡礼の旅への深い共感を私たちに感じさせてくれます。そして、由佳さん、里香さん、すべてはチームをまとめているあなたのおかげで、それは素晴らしい集大成となるでしょう。そして、皆さんがおっしゃるように、それは「国際平和デー」の99回目の日です。国際平和の日です。

それは、サンフランシスコで初めて大きな祝典が開催されてから40周年を迎える日であり、Pathways to Peaceと私たちの仲間がサンフランシスコで大規模なイベントを開催します。その日、他にも多くのイベントが開催されます。それは、国際平和の分野における素晴らしい結集であり、マヤ暦の終わりから始まった12年サイクルの集大成であり、40年サイクルでもあります。それは、グローバル・ユニティの11日間の20周年でもあります。すべては、この特別な一ヶ月に集結します。

<フミさん>

そうですね。そういえばベンさん、言い忘れていましたが、今年は原爆投下から80年目です。だから、それは新しい記念日でもあります。

<ベンさん>

それは非常に大きな出来事です。だから、世界に向けて放送される「平和のために団結しよう」という番組は、広島から全世界に向けて放送されることになるでしょう。

それでは、クリスティンのビデオを流しましょう。その後で、里香さんと由佳さんにも戻ってきてもらって、簡単な質疑応答のセッションを行ないたいと思います。それでは、フミさん、ありがとうございました。素晴らしいお話でした。クリスティン、どうぞ。

<クリスティンさん>

こんにちは、クリスティン・ホフマンです。今日は、私がこの地球上で最も好きな場所のひとつ、富士山、特に富士聖地についてお話できることを大変光栄に思います。日本の中心部に位置するこの素晴らしいスポットは、平和の象徴として大切に育まれた空間であり、この愛する地球全体に広がる平和の灯台のような役割を

果たしています。実際にそこに行くと、言葉では表現できないほどの体験をします。それは、この世の場所とは思えないようなところですよ。富士聖地は、今この地球上に存在する平和の聖なる暗号を秘めた場所だといえます。

私たちは、本当に本当に幸運です。なぜなら、来る9月に富士聖地に招かれるからです。富士聖地は、この地球上に存在するすべてのピースボールの発祥の地です。「May Peace Prevail on Earth」と書かれたピースボールは、地球上の何百万人もの人々の心に、平和の真言を刻みつけています。そして私たちは輪になって、歌い、祈り、瞑想しながら、このマントラに同調して、地球に平和が広がるように祈ります。

去年はロサンゼルスで「ユニティ・アース」に参加しました。ライブを終えた翌日、ロサンゼルスにあるヨガナンダ・アシュラムの瞑想サロン「レイク・シャイン」に行きました。私たちは屋内で美しい瞑想を終えたところでした。そして、グループで湖の湖畔をゆっくりと歩き始めたとき、突然、霧が晴れたかのように、多くの仲間たちが富士聖地で深い敬意と平和に包まれて集まっている光景が、ハッキリと心に浮かんだのです。

それはとても深遠なもので、私はすぐにベンにその光景を伝えました。まるでその日、その場所で、神秘的な未来の断片を垣間見たかのような体験でした。そして、ベンは素晴らしい方法で、このビジョンを受け取っただけではなく、2週間後に私に電話をしてこう言いました。「クリスティン、あのビジョンは実際に現実のものになりつつあります。私たちは日本行きを実行する。私たちも富士聖地からの呼びかけを感じています。だから9月に、富士聖地で壮大な祝賀会を開催しましょう。これは実現します。だから、私の心は喜びでいっぱいなんです。」と。

私たちの多くの仲間たちがこの呼びかけに答え、9月に富士聖地で一緒にできることを嬉しく感じています。直接参加できない方は、私たち全員の心の奥にある共磁場を通じて参加できますので、あなたが自宅で瞑想しているときでも、祈りを捧げているときでも、私たちは繋がっていることを覚えておいてください。そして、私たちと繋がってください。

私たちの目標は、五井平和財団や白光、そして西園寺家によって、長年にわたってその場所で愛をこめて育ててきた平和の種を、本当に世界中に広めてゆくことです。私は、地球に本当に平和が広がることを願っています。そして今、ユニティ・アースは、平和の守護者である白光と協力し、この地球上で非常に重要なこの時に、その美しい調和の調べを新たなレベルへ高める機会を得ました。皆さん、ぜひ私たちに加わってください。この美しい物語を分かち合ってください、まことにありがとうございます。この特別なビジョンが現実のものとなるのを見る以上に興奮することはありません。愛と感謝と祝福をこめて。

<ベンさん>

素晴らしい！素晴らしい！あなたの話にあったその日、私たち全員がその場にいました。それは本当に神聖な瞬間でした。デボラ・モルドがロサンゼルスへの旅行の前に、サンドラ・ダカスタ・バフィントンと私を繋いでくれました。そして、レイク・シャインで私たちを迎えてくれたのはサンドラでした。そして、私たちのグループがそこに集まるために、彼らはその場所をすべて閉鎖してくれました。そこは超人気スポットなので、すごいことなんです。私たちグループの人だけが集まっていたため、それは本当に特別な時間でした。

ロサンゼルスでの集会の後のその時間は、とても神聖な瞬間でした。クリスティン、あなたが富士聖地のビジョンを得たのですから、あなたはそれを追い求めなければなりませんよね？だから、フミさんと由佳さんに心から感謝しています。このビジョンを現実のものにするため、あなた方は本当にたくさんの協力をしてくださっています。そして、里香さん、真妃さん、そしてグループ全体の昌美さん、それから広島チームの皆さん、そして住岡健太さん、みんなが力を合わせてくださっています。素晴らしいことです。私たちは本当に、本当に、本当に恵まれています。

参加方法については後ほどお伝えしますが、まずは由佳さん、クリスティンのメッセージにコメントをいただけますか？その後、里香さんにもお話をいただいて、質疑応答に移りたいと思います。

<由佳先生>

クリスティンさんのビデオに、とても感動して見入っていました。もちろん、これまでの経緯は知っていたのですが、改めて彼女のビジョンを聞くことで、9月に皆さまをお迎えすることは、私たちにとって非常に大きな意味を持つことだと思いました。最初に里香さんがお話くださったように、今日ここに集まっている皆さん、Unity Earth のコミュニティは、愛と平和と団結に満ちた素晴らしい人々だということを、私ももちろん知っています。そして、彼らを日本の東京で、富士山で、富士聖地で、広島で、お迎えできることは、本当に素晴らしいことだと感じています。それは、とても光栄なことです。

私は、「文化」と呼ばれるシンプルな日本語を共有したかったのです。「文化」という言葉は、風と土地という言葉が組み合わさったものです。つまり、土地は動かないものですが、風は情報を運び、また情報を取り込むものです。そして、風と土地が組み合わさることで文化が生まれるのです。新しい文化や新しいものを生み出すには、常に土地と風が合わさり、共にある必要があります。そして、私はユニティ・アースの皆さまが、富士山麓や東京などに住む私たちにとって、平和を愛する多くの人々や、このエネルギーに献身的な人々を世界中から集める風の祝福のような存在だと感じました。彼らは日本や日本の大地に吹き渡る風のような存在であり、私たちは自分たちの真実、祈り、教え、文化をその風に乗せ、風はまた世界へと戻ってゆくのです。

私たちは力を合わせて、今まさに誕生すべき新しい生き方、新しい文化の形成を始めているのではないのでしょうか。この美しい愛と平和のすべてを世界に伝え、日本から世界へ広めてくださる、このような機会をいただいたことに、私たちは本当に感謝しています。あなた方がしてくださっていることは、日本から世界へ平和の響きを広めてくださっていることです。ですから、クリスティンのビジョンには、とても感謝しています。ベンさんがおっしゃったように、フミさんやデボラさん、そして、舞台裏で今回のことを実現するために働いてくださった多くの人々がいます。私はそれらの方々に、ただただ深く感謝しています。そして、9月に日本で、多くの方々にお会いできることを願っています。ありがとうございました。

<ベンさん>

美しい、美しい。由佳さん。そう、あなたの表現はとても素晴らしいです。大地を吹き抜ける風…。とても感動的な表現です。里香さん、感想をお願いします。

<里香先生>

私もあなたがおっしゃったように、由佳さんの話をとても美しい表現だと思いながら聞いていました。私も彼女の表現に完全に同意し、とても感謝の気持ちを感じていたので、少し声を大にしてそれを言いたいと思いました。というのも、皆さんのように、平和のために献身的に自分の器を提供している美しい魂や精神に出会えたことにとても感謝しているからです。

そして、今年 83 歳になったばかりの私の母は、私たち三姉妹にバトンを渡したいと思っています。母は平和を広めるために走りつづけてきましたし、本当に一生懸命働き、平和のために献身してきました。でもこれまでの私たちは、彼女からバトンを受け取るには、私たちは十分ではないと思っていました。ですから私たちは母に、「私たちにはできません」「お母様がやってください」とお願いしていました。しかし今、私たちの前にいるすべての友人たちと共に、私たちはバトンを受け取り、この純粋な平和のメッセージをすべての仲間と共に、世界に伝えることができていると感じています。私たちは一人ではないのです。

この「May Peace Prevail on Earth」のメッセージを大切にしてくださり、この深いメッセージと繋がっている多くの友人たちがいます。私は、世界中の人々がこのメッセージを受け入れてくださっていることに、とても感謝しています。そして今、私は母に感謝したいと思っています。私の他の2人の姉妹も、母が担ってきた戦いを引き継ぎ、受け継いでいます。母はとても元気で、これからも頑張っていてゆかれると思います。母は、これからも私たちを支え、一緒に走りつづけてくれるでしょう。私はそんな母を受け入れ、一緒に走ってゆくことに問題ないと思っています。

<ベンさん>

イエス、イエス、里香さん、一緒に走れて嬉しいです。ありがとうございます。本当に素晴らしいです。私にとって、これはとても素晴らしい喜びの瞬間です。クリスチンの素晴らしいメッセージに、深く深く感謝しています。西園寺裕夫さんと西園寺昌美さんにも深く感謝したいと思っています。このプログラムを実現するために、本当に多くのことをしていただきました。

私たちが訪れる場所…、私たちが滞在する施設…、西園寺さんご夫妻のご縁を通じて用意された場は素晴らしい場所ばかりです。日本での日々は、素晴らしいものになるでしょう。私たちは明治神宮に行き、一般公開されていない講堂で昼食を食べます。私たちは、東京にある素晴らしい施設に滞在します。 ホテルニューオータニ、それはこの東京コンバージェンスを行なうのに完璧な場所で、信じられないくらい素晴らしいところです。クリスチンのメッセージについて共有したいことがあれば、あなたの感想を教えてください。どうぞ、あなたの声を聞かせてください。

<フミさん>

はい、今まさに神聖なるタイミングが到来し、私たちはすべてのエネルギーをひとつに集約し、この美しく素晴らしい体験を生み出そうとしているのだと思います。もちろん、そこにいる人々だけでなく、私たちのコミュニティすべてに共鳴し、その素晴らしい体験をすべての人々と共有できるでしょう。

私はとても幸せです。なぜなら、私は里香さんと由佳さんと一緒にいることができるからです。彼女たちは、世界平和の祈りの提唱者である五井昌久氏の精神を受け継ぎ、「世界人類が平和でありますように」の理念を継承し、すべての人々のために、その灯を絶やさずに守ってくださっています。ですから私はもちろん、娘さんたち、そして西園寺ご夫妻にも深く感謝しています。そして、平和コミュニティの多くの方々が私たちと一緒にこの素晴らしい旅を体験することを、心から楽しみにしています。ありがとうございました。

<ベンさん>

素晴らしい。私も心から感謝しています。このイベントを実現させてくれたユニティ・アースの主要資金提供者、パーパス・アースとイマヌエル、そしてローラ・ローズに感謝を捧げます。ローラとイマヌエルはホロー・ムーブメントの主要な呼びかけ人の一人でもあります。パーパス・アースとホロー・ムーブメントの祝福により、このイベントが実現しました。また、これを支援してくれたスピリチュアル・ライフTVのオリビア・ハンセンにも感謝しています。

私たちはアーティストやミュージシャン、先住民族のリーダーたちを日本に招きます。それは安い取り組みではありません。多大なリソースを要します。ですから、私たちを支援してくださる方々やスポンサーの皆様にも感謝しています。もし、素晴らしい取り組みだと思う方がいらっしゃるなら、詳しい内容をお伝えします。9月の日本行きについても、私たちと一緒に参加していただけますし、まだ空きがあります。

では、簡単にご紹介しましょう。イリーナがチャットにリンクを載せていますし、さまざまな放送でも紹介されると思いますが、それがこちらです。Land of the Rising Sun（日の出ずる国）です。先ほど里香さんが話

していたシンボルを鶴が飛び交う美しい姿を見ることができます。それは、人類の生命における根本の精神性の象徴です。そしてもちろん富士山も…。すべてはそこにあります。

簡単に説明しますと、クリスティンからのメッセージがありましたように、東京コンバージェンスは素晴らしいものになるでしょう。また、ホテルニューオータニで行なわれる会議は、パワフルな会議となるでしょう。私たちは、グローバルな平和運動を強化し、グローバルな影響力のあるシステムとして、より効果的に組織化する方法について話し合う予定です。そして、精神性の中心である富士聖地へ行きます。3日間のヒーリング、神聖な音楽、ムードラ（印）、世界各国から集まるコミュニティ、国際的なネットワークとの繋がり…。それはとても貴重な体験となるでしょう。

そして、広島へ行きます。平和記念公園でのコンサート、そして世界への放送…。そこには、1945年に原爆が投下された爆心地があります。ぜひご参加ください。このリンクは、Googleで「World Weavers Japan」と入力して検索していただければ出てきます。まだ空きがありますので、一緒に日本へ行きたいと思われる方は、9月にぜひご参加いただければと思います。

それでは、あと10分くらい時間があるのですが、どなたか質問やコメントをお持ちの方がいらっしゃいますか？どなたか、ご質問やご意見をお持ちの方はいらっしゃいますか？日本でお会いする予定のたくさんの方々がここにいらっしゃいますね。ベッキー、ダナ、ブライアン、リサ、私の母、その他、大勢の方がいます。アドリアナ・アルバレス、ドット・メイバー、イリーナ・モリソンもいます。アドリアナ・アルバレスさんからの質問です。シスター・アドリアナをこちらにお呼びしましょう。アドリアーナ、どうぞ質問してください。どうぞ。

<アドリアーナさん>

愛すべき関係者の皆様、どうもありがとうございます。私は、この美しい精神、日の出の精神と、この平和運動を先導する若く素晴らしい女性たち、そしてご先祖様たちの素晴らしい遺産を通してつながることができて、とても心が広がっています。英語の発音がおかしいかもしれませんがお許しください。日本だけでなく、全世界にこの遺産を残してくださったあなたのお爺さま（五井先生）の精神を感じ、胸がいっぱいになりました。そして、あなた方の存在、日本全体の精神、日の丸の国旗の意味を知り、富士聖地にも立つことができ、とても光栄に思っています。

それは日本からアメリカ大陸まで、太平洋越しに虹の橋を架けるようなものです。そして、私は愛すべき妹のフミを通して、光と愛の流れをいつも見ることができています。彼女はとてもパワフルで、彼女の精神は常に平和と光をもって、すべての大陸を満たしています。ありがとう。

私たちの愛するベンにも心から感謝します。彼はこの集いを呼び起こすために世界中に呼びかけ、先祖代々受け継がれてきたこの神聖なる集いを美しい神聖な門へと導いてくれました。9月の日本巡礼では、精神的に、あるいは実際に参加して完全に結びつくことができることに、心からの感謝を捧げます。どうもありがとうございます。

<ベンさん>

素晴らしい。アドリアーナ、美しい感想とコメントをありがとう。そして富士聖地で、そのような神聖な日に、あなたが私たちと一緒にいてくれることを願っています。ありがとう。ヤポとエティエンヌ、ようこそ。

<ヤポさん>

皆さん、こんにちは。私はヤポ、そしてこちらは夫のエティエンヌです。私たちは中国から参加しています。このイベントのメールが私の受信トレイに届き、私たちは早起きしてZoomに参加しなければいけないと思っ

たのです。そして、里香さんと由佳さんに感謝します。ご家族のとても感動的なお話をシェアしていただき、ありがとうございました。それは私たちにとってとても深い感動でした。それは、あなた方のご一家が、前の世代から今の世代、今の世代から次の世代へと受け継いでいることなのです。

私の質問です。私は中国で育ちましたが、10年以上海外に住んでいました。そして、平和と神聖復興のメッセージを中国にもたらしたいと思って、昨年、夫とともに中国に戻ってきました。中国はとても大きな影響力がある国なので、この国から平和と神聖復興の声がさらに高まることを心から望んでいます。あなた方のご家族がなさっていることは、私たちに非常に大きなインスピレーションをもたらしています。

質問ですが、お話を伺っていて、中国と日本には、実際には非常に複雑で繊細な問題があるのではないかと感じています。私たちには、歴史の勝者が捏造した物語、ねじ曲げられた歴史があり、それが私たちを隔てていて、対立させているように思うからです。もし将来、私たちがより親密になり、平和と再生という共通の意図を一つにまとめる機会があるとしたら、どのようなあり方だとお考えでしょうか。それが私の質問です。ありがとうございました。

<ベンさん>

素晴らしい質問ですね。素晴らしい質問です。ありがとうございます。では、里香さん、どうぞ。

<里香先生>

メッセージ、どうもありがとうございました。あなたの純粋な愛と、地球に平和が広がることを心から願っている真実の気持ちが伝わってきました。私は、国境も壁も存在していないと思っています。それは、政治的に演出されて起こっているだけです。でも、私たちがこうして話していたり、あなたの声を聞いたりしているだけで、私はただ、愛と平和のための相互接続と繋がりを求める気持ち、そしてお互いを愛し、尊重する気持ちを感じることができます。

それは私たちの中から湧き上がってくるものであり、ひとりひとりが感じられるものです。私は心からそう信じています。だから、あなたとお話ししている今、私は本当に、あなたの国や文化についてもっと知りたいと思っています。そして、心の底から交流を深めたいと思っています。ですから繰り返して言いますが、私には隔たりはありません。

私たちがこのような活動をつづけることによって、いずれは、国と国との壁をなくし、誤解を霧散し、地球人として一つになるような感覚を持つことが出来ると思っています。ですから、あなたたちのような素晴らしい存在は、本当に貴重な宝もののような方々だと思います。メッセージをありがとうございました。これからも、それぞれの国と私たち人類のために祈りつづけましょう。

<ヤポさん>

本当にありがとうございます。

<由佳先生>

そうですね。里香さんがおっしゃったように、私たちは、お二人の素晴らしいエネルギーと、平和な中国を築こうとするお二人の強い意志を感じています。お二人をととても尊敬していますし、お二人の行なっている、とても美しく、重要な活動を心から応援しています。

もし私たちがあなたたちの活動を支援できることがあれば、いつでもお知らせください。私たちは、さまざまなメソッドや祈りの方法を持っていますので、もし私たちがあなたたちに何かお手伝いできることがあれば、いつでも喜んでお手伝いします。

そして、里香さんが言ったように、私たちも中国と日本のためにできることがあれば、それは私たちにとってもとても光栄なことです。日本には、中華人民共和国のために祈りを捧げ、中華人民共和国のために平和を祈る言葉を、中国語で書きつづけている何千人もの人々がいます。

それは家族のような…、コミュニティのような…、どう表現したらいいかわからないのですが、本当にあなたの活動を支援し、さらに発展させたいと願っている人々がいるということを知っていてください。本当にありがとうございます。

<ベンさん>

素晴らしい。とても美しい。ありがとうございます。ありがとうございます。それに対して何かお答えになりますか？どうぞ。あなたが頷いているのが見えます。

<ヤポさん>

里香さん、由佳さん、どうもありがとうございます。とても温かい言葉に感動しました。私たちは、中国発の平和の歌という音楽キャンペーンを実際に制作しているので、ぜひ連絡を取り合いたいと思っています。私たちは、多くの人々を招き、地球上で平和への一步を踏み出すことについて、一緒に歌ってゆきます。そして、中国で制作された、中国の心からの音楽ビデオを実際に広めてゆくつもりです。ぜひ連絡を取り合って、一緒に仕事ができる方法を探りたいと思っています。

<ベンさん>

はい。私は「中国からの平和の歌」が大好きです。それはとても重要なことだと思います。ヤポさんとエティエンヌさん、私のメールアドレスをチャットに入れておきます。ぜひご連絡ください。繋がりを保ちましょう。由佳さんと里香さんにもご紹介できると思います。ありがとうございます。ここには、人と人との繋がりが 있습니다。私たちにはそれができるのです。

それを実現するのは私たちの手にかかっています。私たちには、平和の組織があり、ツールがあり、テクノロジーがあります。心の交流を妨げるものは何もありません。里香さんがおっしゃったように、私たちを阻む境界線はありません。ありがとうございます。今日は私たちと一緒にいてくれて、本当にありがとう。

あなたがここにいてくれたことは本当に重要だったと思います。9月にぜひ日本にお越しください。一緒にいることほど素晴らしいものはないのですから。中国から日本に平和の歌をお届けください。ぜひご検討いただければと思います。ヤポとエティエンヌがメールアドレスを教えてくれたので、これからも連絡を取り合いましょう。素晴らしい。ありがとうございます。

皆さん、これから忙しい朝を迎え、家族や仕事もありますので、あと2、3、コメントする時間があります。ダナからもコメントがあるはずです。ダナが手を挙げました。ディンプル・レイも手を挙げたと思います。そして最後の言葉はドットが話します。では、ダナ、どうぞ。

<ダナさん>

アロハ。このプレゼンテーションに参加し、皆さんの見解を聞くことができ、とても素晴らしく、感動的でした。皆さんが話してくださった、縦の繋がりとしての神聖な繋がり、横の繋がりとしての愛の表現、そして私たちの中に宿る神聖の復活について、とても共感しました。



私は今、あなたのお爺さんについて、もっと知りたいと強く感じています。彼についてもっと知りたいので、調べてみようと思います。なぜなら、私は本当に、彼の本質やメッセージ、そしてあなたが広めつづけているメッセージに強く共鳴しているからです。

そして、この平和週間の日本巡礼の誕生の一部として、私は最初からその一員だったような気がするのです。なぜなら、クリスティンがこのアイデアを思いついた瞬間、私はレイク・シャインにいました。湖畔でベンとクリスティンが真剣な表情で会話している姿を見たのを覚えています。それは、そのビジョンが生まれた瞬間だったのでしょう。

そして今、私のビジョンは、このイベントに参加し、日本の皆さんと共に活動することです。ご覧の通り、私の背景には富士山があります。なぜなら、私のビジョンはそこにいることだからです。特に私は、神聖なサウンドを使って活動しています。私は自分の声を神聖なるエネルギーの媒介として使っています。そして、私自身が神聖な音の融合と呼ぶものを創り出しています。

また私は、私が懸命に努力して作り出す一貫性の響きと組み合わせて、地球に大きな影響を与える増幅された一貫性ある心のフィールドを創り出しています。そして、地球上でその最もパワフルでエネルギーに満ちた場所である富士聖地で、それを共有することが私のビジョンです。

私はただ、それを声に出して、さらに大きなエネルギーを響かせたいのです。私は、富士聖地に行き、そこにいて、その一部となるための資金を集めるために、募金活動を行なっています。それはコミュニティの募金活動です。私たちは、自分だけではできないことも、時には一緒にできることがあります。そして、どんな小さな支援でも大きな助けになるかもしれないので、私の募金活動のリンクをチャットに貼っておきました。私は本当に感謝しています。なぜなら、私はそこにいることを約束し、それを実現するためにすべての魔法と奇跡を持ち込んでいるからです。私も、由佳と里香に現地で会えることを願っています。

<ベンさん>

素晴らしい！ダナ、ありがとう。あなたの募金活動についても、チャットで更新しておきますね。どんなことでも役に立ちます。10ドル、50ドル、100ドルでも構いませんので、ダナが富士聖地に、彼女のギフトやシンキングボウル、神聖な音楽をもたらすという神聖な目的を持ってそこにいるというビジョンを実現するために、そのエネルギーはすべて役に立ちます。どうか彼女をサポートしてください。リンクはチャットにあります。すべては役に立ちます。「私は行きたいけれど、どうすればいいかわからない。でも私は富士聖地へ行きたい」と思われる方は、ご一緒にそれを実現する方法を見つけましょう。

<ダナさん>

やり遂げましょう。そして、次回のサウンドインフュージョンは、地球の平和に捧げたいと思います。私は富士聖地へ行けることを心から願っています。

<ベンさん>

ダナの資金を調達しましょう。そして、次にアドリアナ・エルバのことも考えましょう。彼女も来られるように…。なぜなら、すべては実現させなければならぬからです。はい、わかりました。残り時間があと1、2分だそうなので、この先は早くお願いします。ディンプル・レイ、少ししか時間はありませんが、お願いします。

<ディンプルさん>

私の声が聞こえますか？

<ベンさん>

はい。

<ディンプルさん>

私はインドから参加しています。今は午前3時です。何かが私を突き動かして、このイベントに参加しなければならないと思いました。この機会を逃さないために、実は一晩中、ほとんど眠れませんでした。私の心は喜びで飛び跳ねているのです。

なぜなら、私の精神的な師がレイク・シャインを歩き、世界平和を祈っていたのは1990年代のことだったからです。師は歩いている途中で小さな小冊子に遭遇しました。それはアシュラムが作った小冊子で、世界平和の祈りが書かれていました。そして彼女はただそこにいて、自分の次の役割は何だろうと考えていました。なぜなら彼女の役割は異宗教間の祈りであり、彼女はグルであるサイババのメッセージを西洋に伝えていました。彼女はダライ・ラマや教会、そしてすべては信仰と協力していました。そして、それが次のステップとなり、彼女は次にインドで私と出会い、このメッセージを伝えてくれたのです。そしてそれは、普遍的な平和のための光とでもいうような種を蒔くことでした。彼女は私にピースポールを紹介してくれた人でした。

そしてその後、私は里香と出会いました。カヴールさんとはお会いしたことはありません。電話でお話したことはあります。もちろん、フミは私の大切な友人です。そしていつの間にか、彼女たちが私に称号を与えてくれたのです。フミが私に送ってきたメッセージには、「あなたはピースポールのインド代表です」と書かれていました。それ以来、私たちはインド全土で10本ほどのピースポールを建立してきました。そして、それがヨガナンダのところで始まったと聞いて、今日はとても感動しています。あなたとの繋がりもまた、そこから生まれました。ありがとうございます。私は、このZoomミーティングに参加できるように背中を押してもらえて、本当に良かったと思っています。

<ベンさん>

ディンプル、ありがとう。ディンプル・レイ、ありがとう。夜中に私たちのために時間を割いてくださり、本当にありがとう。このミーティングに参加していただき、どうもありがとう。優しい心臓の鼓動があなたをベッドから起き上がらせ、私たちの前に、そしてこのコミュニティに導いてくれたことに、心から感謝しています。ありがとう。フミが私に教えてくれたのですが、ヨガナンダと昌久さん（五井先生）は天界で共に働いていると…。

<ディンプルさん>

一緒に働いている…？一緒に働いている…？昌久（五井先生）と一緒に働いている？ええ、すごい、素晴らしい。ありがとうございます。素晴らしいお話をしていただき、ありがとうございました。9月に日本でお目にかかれると嬉しいです。

<ベンさん>

それは素晴らしい。

<ディンプルさん>

私は毎年、日本を訪れているので、神のご加護があれば、それは実現するでしょう。

<ベンさん>

素晴らしい。由佳さん、里香さん、フミさん、ありがとうございました。それでは、最後にドット・メイバーさんに感想とコメントをお願いします。ドット、どうぞ。あなたがここにいてくれることはすごいことです。

<ドットさん>

ありがとうございます。ベンさん、フミさん、里香さん、由佳さん、ありがとうございます。日本で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。そして今、この瞬間、私たちは距離を超えて心をつにし、皆さんのお話を聞き、五井先生が今、エレナ・ロリックや、エレナ・ブラヴァツキー、そして私たち一人一人のためにいる守護の神霊と共に、向こう側で働いていることを知っています。私たち自身の生活における精神的指導者であり、導き手です。

神聖なる存在が私の心を歌わせます。そして、富士山の麓の白光真宏会において、私たちが集合する時、私たちがそこに存在しているか否かに関わらず、沈黙の力が、私たちが知っている以上に偉大であることを思い出しましょう。距離を超えて、パールの両側から沈黙の中で心をつにしましょう。私たちは愛の炎の中で共に立っています。地球に平和が訪れることを祈ります。本日のプログラムを開催して抱き、先ほどのご講演、本当にありがとうございました。

<ベンさん>

ドットさん、本当にありがとうございます。心から感謝しています。あなたが「グローバル・サイレント・ミニッツ」で私たちと一緒に日本にいることをとても嬉しく思います。私たちは富士山にも行きますし、広島にも行きますし、すべての場所に行きます。ここにいる多くの人々が日本に行く予定です。ありがとう、ドット。ありがとう、フミさん。ありがとう、里香さん。ありがとう、由佳さん。そして、ありがとう、クリスティンさん。素晴らしい集まりになりました。ここに来てくださったすべての方に感謝します。最後に、心の中でみんなに伝えてください。地球に平和が訪れますように。

(おわり)